



のぞみっ子「甌島」自然体験キャンプを開催しました

8月20日～23日の3泊4日で、のぞみが丘小学校5・6年生21人、三国中学校2・3年生3人、大人の指導者18人が、甌島(鹿児島県薩摩川内市上甌町)で、『のぞみっ子「甌島」自然体験キャンプ』に参加しました。



のぞみっ子「甌島」自然体験キャンプ



この自然体験キャンプは、甌島の大自然の中で、日ごろできない「海の活動」を子どもたちに思い切り体験させたいという思いから、のぞみいきいきアンビシャス広場が中心となり「のぞみが丘小学校区協働のまちづくり」青少年育成部会事業として企画しました。

子どもたちが大自然の中でさまざまな活動や団体での生活をとあして

- ①自主性や自立心を養う
- ②友達と絆を深める
- ③規律を守る ことを目的としています。

甌島は、東シナ海に位置しています。平成27年3月に、島全体が甌島国立公園になりました。

子どもたちの事前研修(役割決め)・保護者説明会

事前研修では、持ってくる物や、生活の注意事項、活動内容などの説明を行いました。

また、キャンプ中は班活動が主となるため、子どもたちは「班長」「食事係」「健康係」「生活係」など班の中での役割分担や班ごとの目標を決め、発表しました。



現地での活動



甌島では、魚釣り、磯遊び、シーカヤックなどの体験をしました。

朝と夜の食事は自分たちで作ります。釣った魚や採った貝でバーベキューをしたり、カレー作りをしたりする中で、中学生が小学生に調理の段取りを指導するなど、学年をこえた交流が生まれました。

今回の体験をとあして、参加した子どもたちは、物事に取り組む積極性や仲間と協力し合う協調性を培うことができました。